



## ストレージシステムへの要求課題：

ストレージシステムの導入にあたり、(1) 大容量データサイズを実現可能 (2) ブロックストレージ (DAS) とファイルサーバ (NAS) の同時使用が可能 (3) 遠隔地にある拠点にデータのバックアップを実行するためのバックアップ機能を有する、これら3つの要求条件を実現するストレージを選定する必要がありました。

## GSユニファイドストレージによるソリューション：

- 大容量ハードディスクをサポートし、JBOD拡張筐体によるデータサイズ拡張が可能
- ブロックストレージ (DAS/SAN)、ファイルサーバ (NAS) をサポートするユニファイドストレージ機能
- メインサイトのGS (ソース) からフォルダRsync機能でバックアップサイトのGS (ターゲット) にデータのバックアップを実行

## GSユニファイドストレージ導入効果：

1システムによりDAS接続とNAS接続の混在環境でのストレージ利用が可能となりシステムコスト、運用管理工数が削減されました。ストレージ設定・運用管理に際して、管理ソフトウェアEonOneのGUI機能は日本語を含め多言語に対応し、かつシンプルな操作性を有するため、短時間で容易に設定管理を実行することができました。別拠点に設置されるGS間でフォルダRsyncバックアップを実行することによりメインサイトGSにデータロスが発生してもバックアップサイトGSからリストアを実行することが可能となります。

## システム構成図：

